

広報

おいらせ



Special
Edition

雪と 共に生きる

❷ 新年のあいさつ

❸ 平成 21 年分の所得申告を受け付けます

❹ 家庭ごみを減らしましょう

❺ おいらせ町臨時職員募集・登録者募集

❻ おいらせ病院リフォーム

❼ ZoomUp ー澤上光成さんー

❽ 家族のきずな ー館智啓くん・昌章さんー

Public
Relations
January
2010
No.59

1



未来に向かって 大きく羽ばたく年にしたい

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は町政に対する温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

初めに、新型インフルエンザの感染拡大は本町も例外ではなく、国や県の基本的対処方針やワクチン接種の基本方針により、感染拡大防止に向けて迅速な対応と情報提供に努めるよう、対策を講じています。冷静な対応と、一人ひとりの感染防止対策を自ら実践することが重要です。ぜひ手洗い、うがいの励行、マスクの着用など、感染時の心の準備と、日々の健康管理をお願いいたします。

次に、世界的な経済不況の中、国内では政権交代という

劇的な変化がありました。今後、当町に及ぼすであろう影響について、国の地方財政対策などを見極めながら、景気や雇用対策などに注視することとしています。

また、町政の諸課題についても、健全財政を維持しつつ、変える勇氣と変えない誇りを持つて、果敢な行動で対処する所存です。

さて、昨年、町の羅針盤である総合計画と、まちづくりの憲法とも言える自治基本条例が施行され、地域の力を引き出す「協働のまちづくり」がスタートしました。新町の草創期ゆえ、町民、議会、行政がこの総合計画という種に陽を当て、水をやり、たくましい芽を出させ、町民が夢を持てるよう、大きく育てていくことが大切であると、念頭にあたり強く決意していま

す。

迎える新年においては、継続する事業に加えて、▽二丁目保育園改築事業▽町民交流センター改修事業▽木内々小学校耐震改修事業▽下田小学校屋外教育環境整備事業▽町国土地利用計画書作成事業などを推進する計画です。

そして、凛とした元日の朝を迎え、愛するふるさとおいらせ町が、未来に向かつて大きく羽ばたく年にしたいと強く念じています。

結びに、おいらせ町の将来を見据え、その基盤をいっそう揺ぎないものにするため、諸事業を展開してまいります。今後一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、本年も皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、年頭のあいさつといたします。

明けまして

おめでとうございます

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい年の初めをお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は正月早々の断水事故から始まり、夏には西日本を中心とした大雨災害。わが町も、不順天候により農作物に少なからず影響を受けました。そして、大型クラゲの大量発生や、今現在も続く新型インフルエンザの脅威、長引く不況等々、暗いことのみが思い出される一年であったように思います。

明けて今年は2010年、寅年。東北新幹線もいよいよ県都青森市開業となります。願わくばこの勢いを受け、トラのように力強く前進し、新しい時代の幕開けにふさわし

い良い年になることを期待したいと思います。

翻って、足元に目を転じますと、早いもので本町が誕生してから5年目に入ろうとしております。合併当初のぎこちない歩みも徐々にスムーズになり、今やその一歩一歩が新しい町の歴史を刻むべく、確実な足取りとなってきた。一そう思いますと、議会人のひとりとして感慨一人のものがありますし、皆さまと共にその時を紡いでこられたことに、大きな喜びを感じている次第であります。

一方、この国も今新たな歴史を切り開くべく、かつてない大きな胎動の時を迎えています。新政権の誕生により、これまでの政治の流れ、仕組み、国の形が大きく変わろうとしています。そして、その

大きなうねりは、今後地方に押し寄せてきます。

しかし、何が変わろうとも守らなければならないものがあります。それは、そこに住む人々の「平安な暮らし」であります。地方の最前線にいるがゆえに、わたしたち議員は地域と密着し、地域の視点に立ち、判断し行動していかなければならぬと、あらためて気を引き締めているところであります。地域づくりには完成はないと言われますが、わたしたちも現状に満足せず、良い意味での「欲」をもって議会活動に邁進していきたいと思えます。

結びに、平成22年が皆さまにとつて平和で実りある一年になりますことを祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



人々の平安な暮らしを守るため、 住民の視点で行動



おいらせ町議会議員
西館秀雄

Nishidate Hideo



おいらせ町長
三村正太郎

Mimura Shigetaro

雪と共に生きる

毎年冬になると、雪が降り積もり、車の通行や日常生活に支障を来します。しかしわたしたちは北国で生活する以上、雪と上手に付き合っていかなければなりません。行政の除雪作業には、大きな限界があります。地域の皆さんの力を、ぜひとも貸してください。除雪を助け合いの「助雪」にしていくために。



大雪の中、ブランコ遊びを楽しむ柏崎凛さん=秋堂=。いつの時代も子どもたちは雪が大好き

広報 おいらせ

1

Oirase Town Public Relations
January 2010 No.59

CONTENTS 目次

- 02 新年あいさつ
- 05 特集 雪と共に生きる
- 14 Oirase Topics まちの話題
- 16 平成21年分の所得申告を受け付けます
- 18 家庭ごみを減らしましょう
- 22 Monthly Oirase Information
- 23 戸籍の窓
- 26 町臨時職員募集・登録者募集
- 28 おいらせ病院リフォーム
- 30 ZoomUp ー澤上光成さんー
- 32 家族のきずな ー館智啓くん・昌章さんー



表紙の写真●下田公園を舞うオオハクチョウ。餌付け自粛からおよそ1年を経て、このおいらせに再び白い天使が舞い降りた。

教えたくなる
この人

心も体もリフレッシュ
ウォーキングで交流を深める



金田卓也さん

ももいし歩こう会

かねた・たくや●1937(昭和12)年青森市生まれ。56年に百石郵便局入局、98年の二川目郵便局勤務を終え退職。01年、ももいし歩こう会を立ち上げ、ウォーキングを通じて交流を深める。町環境美化指導員としても活躍。妻との2人暮らし。おいらせ町上新町在住、72歳

ももいし歩こう会は2001(平成13)年に設立。現在およそ70人が会員として、町内外でウォーキングを楽しんでいる。健康づくりはもちろん、率先してごみを拾うなど環境美化活動にも熱心なグループだ。

町内ではそれぞれの個人が楽しんでいようなものだった。金田さんらは「ウォーキングを通して、楽しく交流し合える場をつくりたい」と強く考えた。近隣市町村のウォーキング愛好会とも交流を深めながら、会運営のノウハウを学んだ。会を立ち上げると、多くのウォーキングファンが会員に加わるようになった。無理せず、楽しく過ごせることも、会の魅力と話す会員も多いという。

ウォーキングは四季折々の美しい景色を見ながら、楽しく健康づくりができるのが魅力と話す金田さん。「交流を深めながら、人同士のつながりをこれからも大切にしたいです」と、更なる会の発展に意欲を見せた。

Question-2 どうして除雪作業に来る時間が遅いの？



▲集落内の狭い道路を除雪する委託業者。真夜中に降り積もった雪を除雪するため、作業は明け方まで絶え間なく行われる。

除雪はそれぞれの地域の積雪量(約10センチが基準)により、出動するかどうかを決めています。担当職員らの現場パトロールはもちろん、地域に住む人々からの情報を得て、除雪作業に向かいます。しかし雪が積もる範囲は非常に広いものです。それを限られた機械台数で除雪します。ですから、どうしてもすべての地域に早く向かうことができない場合があります。また、除雪をする時間帯によっても、皆さんが

A2 広範囲のため、すべて対応は困難

目にする積雪量に違いは生じます。例えば、雪が絶え間なく降りしきる夜、真夜中に除雪作業を行ったとします。それ以降も雪が降れば、早朝には雪が再び積もることになります。実際には除雪を行ったにもかかわらず、「除雪に来ていないのでは」との声が寄せられることもあります。限られた除雪機、限られた時間で行うため、どうしても生じてしまう問題です。ご理解をお願いします。

Question-3 どうしてもっと丁寧に除雪ができないの？



▲除雪作業後、路肩に残された雪のかたまり。大型の除雪機械は小回りが利かないため、細かい部分の除雪を行うのはなかなか難しい。

多くの住民から寄せられる要望の一つに、「もっと家の前をきれいに除雪してほしい」、「もっと細かいところまで丁寧に除雪してほしい」という声があります。町や業者が行う除雪作業は、大型機械で、優先道路から除雪が行われ、細かい部分まで雪を取り去るのは難しいのが現状です。大型機械ですから小回りがきかず、住宅や壁、車などにぶつかる危険性もあります。短時間に、限られた機械台数で

A3 限られた時間での細かい除雪は困難

作業を行うため、どうしても細かいところまでの除雪ができないのです。そのため、各家庭の間口付近には雪の塊が残されてしまうこともあります。ですが、こうした事情をご理解いただき、ぜひ家族や地域の力で間口除雪に協力していただきたいと考えています。おいらせ町は約9千世帯。一人ひとりの力を合わせれば、除雪する雪は相当な量になります。除雪から「助雪」へ。皆さんの力が必要です。

除雪の疑問

おいらせ町は県内でも雪が比較的少ない地域です。それでも1月になると、次第に雪が降り積もります。町は委託業者の力を借りて除雪作業を行いますが、機材的な問題や時間的な制約などにより、すべての要望に応えきれないのが現状です。道路の歩道除雪や、各家庭の間口除雪には、地域や各家庭の力が欠かせません。除雪から助け合いの「助雪」へ。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

Question-1 どうして雪が降っても、歩道は除雪されないの？



▲小型除雪機を使って歩道を除雪する工藤一雄さん(深沢)。甲洋小学校へ通う児童の通学路を中心に、朝早くから自主的に除雪を行っている。

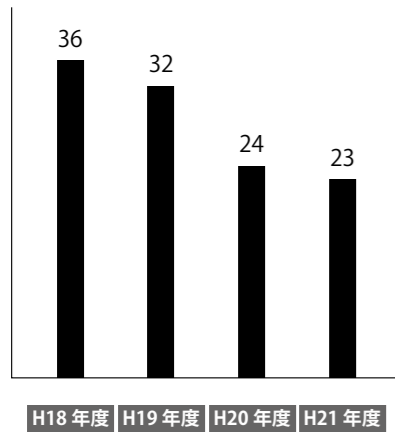
雪が積もると、町は住民の生活に支障を来さないよう、委託業者と共に除雪作業を行います。除雪作業は限られた機械、限られた時間で行わなければなりません。そのため、最も車の通行量が多い幹線の車道から、優先的に除雪が行われます。歩道除雪は、生活者や通学生が、徒歩で安全に通行するために必要なものです。町道の管理は町が行うことから、本来はその車道だけでなく、歩道除雪も町が行うべきも

A1 車道優先などで歩道除雪は難しい

のですが、機械台数や作業員数の制約、車道除雪の優先などにより、手が回らないのが現状です。こうした中、いくつかの地域では、小型除雪機を使ったボランティアの歩道除雪の取り組みが広がってきました(P10、11参照)。歩道除雪には、地域の支えが欠かせません。小型除雪機は町で貸し出ししているほか、助成金を活用して整備することもできますので、気軽に問い合わせてください。

※除雪作業の時期になると、町にはさまざまな除雪にかかわる要望が寄せられます。ここではその中でも多い要望のうち、3つについて取り上げています。

町内業者所有の除雪機械台数推移



除雪委託業者の機械台数、作業距離

除雪委託業者	主な除雪担当地域	機械台数	作業距離
(株) 柏崎組	鶉久保、緑ヶ丘、若葉、住吉町ほか	2台	約18 ^{km}
(株) カネヒ口	中野平、木崎、藤ヶ森、本町ほか	2台	約19 ^{km}
川口建設(株)	二川目ほか	1台	約15 ^{km}
下道建設(株)	洗平、新敷、錦ヶ丘、木内々、向山ほか	2台	約10 ^{km}
(有) 新組工業	三本木、三田、木内々ほか	2台	約12 ^{km}
(有) 新幸建設	苗振谷地、本町、一川目、洋光台ほか	2台	約30 ^{km}
(有) 拓栄興業	青葉、豊原、向山ほか	1台	約12 ^{km}
(株) 種市建業	木ノ下、黒坂、一川目、二川目ほか	2台	約32 ^{km}
中正技建	鶉久保、青葉、緑ヶ丘、木ノ下ほか	1台	約7 ^{km}
(有) 平内貨社	豊栄、一川目ほか	1台	約11 ^{km}
(有) 北都工業	本村、鍋久保、阿光坊、有楽町ほか	1台	約15 ^{km}
(有) 松村工務店	秋堂、木崎、間木、曙、芦野ほか	2台	約12 ^{km}
(株) 三村興業社	堀切川、川口、本町、根岸、深沢ほか	2台	約29 ^{km}
(有) 山崎土建	洗平、向山、新敷、阿光坊ほか	2台	約22 ^{km}

雪と戦う

除雪作業はどのように行われているのでしょうか。いつ降るか分からない大雪と戦うために、職員や業者は夜を徹して作業に当たっています。限られた機械、限られた時間、限られたお金。どうしても手の回らないところが出てきます。やりたくてもできない—それが現状なのです。

三陸沿岸を北上した低気圧は、重く湿った雪を降らせた

昨年1月31日。強い低気圧が三陸沿岸を北上していた。夕方から未明にかけて、本町にも大雪が降るだろうとの予報が発表されていた。西高東低の気圧配置の場合、太平洋側には軽い雪が降ることが多い。しかし、このように低気圧の北上に伴う降雪は、水分の多い、重い雪を降らせる。除雪を担当する地域整備課職員は、泊まりがけで作業することを想定し、その準備に余念がない。

担当職員らは、夕方からパトロールに出かけた。除雪作業は、おおむね10時の積雪が観測された時点で行われる。その目安となる地域がないかどうか、実際に現地へ足を運んで調べるのだ。夜間に行うパトロールは、常に危険を伴う。特に凍りついた路面での走行、吹雪が舞い視界の利かない場所での運転のため、担当職員は細心の注意を払いながら、パトロールを行う。

パトロールによる積雪観測結果は、現地からすぐに役場へ寄せられる。役場に残留担当職員に寄せられる情報は、このパトロール情報だけではない。「早く除雪に来てほしい」

限られた機械、時間、お金
だからこそ地域の協力を

近年長引く不況の風は、建設業者の経営に逆風をもたらしている。この除雪作業も例外ではない。ここ数年、町内の業者が所有する除雪機械の台数は、明らかに減少している。

4年前に36台あった機械は、本年度23台まで激減。大型機械は所有するだけで維持費がかかる。そのため手放す業者が増えているのが、その大きな要因だ。

「厳しい時代の中、町は業者に何とかお願いしているというのが現状です」と語るのには、除雪を担当する地域整備課の松林政彦課長補佐。ここ数年、除雪作業にかかわり、時代の変化を感じているという。

など、住民からの除雪要請の電話が、ひっきりなしに鳴り響く。

これらの情報を整理し、職員は業者と共に図面を確認しながら、除雪作業を打ち合わせる。直接役場で打ち合わせる業者もいれば、電話連絡で対応する業者もある。前もって除雪区域や作業の流れを確認しているため、打ち合わせはスムーズに行われる。

大型機械で現場に向かう業者らの作業は、時間との戦いでもある。限られた時間内で、多くの距離を除雪しなければならぬ。湿った雪は非常に重く、何十もある大型機械でさえ、その作業は容易ではない。本町が除雪作業を行う道路の総延長は、およそ300^{km}にもなる。これを20数台余りの機械で除雪するのだ。

住宅地に入り、さらに作業は細心の注意を払わなければならない。除雪作業は夜を徹して行われる。そして夜が明けたころ、道路の雪はきれいに片付けられた。朝日が輝く白銀の世界を、何事もなかったように車が走っていた。

町としても業者へ「除雪機械を増やしてほしい」というのは、なかなか言えるものではない。そして町の財政状況も、税収の減る時代にあつて、決して楽なものではない。除雪にあてられる予算はおよそ1千万円ほど。もちろん限りある、大切な税金から賄われている。

住民からは「もっと丁寧に除雪をしてほしい」、「家の前に雪の塊を置かないでほしい」という要望が後を絶たない。町も業者も、そのことは十分に承知している。やりたくてもできない—それが本音なのだ。

「限られた機械、限られた時間、限られたお金で、みんな頑張っています。ぜひ地域の皆さんも、除雪に力を貸してください」と、松林補佐は訴える。

INTERVIEW



地域整備課
松林政彦 課長補佐
Matsubayashi Masahiko

除雪機械の減少で、住民の要望にすべてこたえるには厳しい状況です。しかし町は限られた予算と時間で、可能な限りすばやい除雪作業を行います。作業をスムーズに行うには、皆さんの協力が必要です。道路に車を停めないなどの協力をよろしくお願ひします。



2009.2/1 7:56

除雪作業後の道路の様子。大型機械で作業するため、どうしてもわき道には雪の塊が残ってしまう。



2009.1/31 23:44

除雪専用機械だけでは足りないため、大型トラックにショベルを取り付け、除雪作業を行う。



2009.1/31 20:14

除雪作業は大型機械で行われる。町、業者が力を合わせ、優先順位を考えながら作業にあたる。



2009.1/31 19:43

パトロールや電話、天気予報などで得られた情報を元にしながら、業者へ除雪作業出動を依頼する。



2009.1/31 19:17

パトロール中も住民からの要望は絶え間なく役場へ寄せられる。電話対応する小向里香主事。



2009.1/31 18:58

夜間のパトロールを行う町担当者。積雪の予報が出れば、職員は夜を徹して積雪量をチェックする。

夜を徹して行われる除雪作業

地域の力を結集する。歩道除雪に挑む熱き思い

下田駅を中心に歩道を除雪 地域の人々からも大変好評

三田町内会はコミュニティ助成事業を活用し、平成19年に小型除雪機1台を購入しました。

三田には多くの人々が利用する下田駅があります。毎年冬になると、雪が歩道やわき道にたまり、通行者は大変な思いをしながら歩いていました。除雪機を購入してからは、地域の人々が力を合わせながら、除雪作業を行っています。

地域のみみなから「お疲れ様です」と声をかけていただき、大変好評を得ています。



三田町内会長
馬場正治さん
Baba Masaharu

防犯パトロール隊を中心に 歩道除雪を行っています

阿光坊町内会は通行量の多い国道45号に面した地域です。

これまで町内会だけで呼びかけ、それぞれの家庭が協力しながら歩道除雪を行ってきました。そのような活動を続けているうちに、町から「歩道除雪機が活用できる」という話がありました。

現在国道事務所から1台の除雪機を借り、歩道除雪を行っています。防犯パトロール隊のメンバーが中心になり、時には5㍍近い歩道を除雪しています。



阿光坊町内会長
工藤志郎さん
Kudo Shiro

地域の人から「ありがとう」 やりがいと責任を感じる

深沢町内会は太平洋に面した地域です。冬は雪の量も多く、歩道はすぐに雪が積もります。

2年前、町のコミュニティ助成事業を活用し、除雪機を2台購入しました。今は1㍍ちよつとの距離を除雪しています。

地域のさまざまな人から「ありがとう」と、感謝の声をかけてもらいます。そのときにはやりがいや責任感を強く感じます。

甲洋小学校へ通う子どもたちのためにも、ぜひ隣の町内会とも連携していきたいですね。



深沢町内会長
工藤一雄さん
Kudo Kazuo

地域の人々が自主的に参加 ボランティア意識は高い

洗平町内会は町の西側にあります。六戸町と隣接し、国道45号に面した地域です。

歩道除雪は国道事務所から借りる小型除雪機のほか、トラクターで自主的に除雪する農家もいます。下田小学校児童の保護者、地域の人々からも大変好評です。ボランティア意識が高く、自主的な人が多い地域です。

心配なのは保険の問題です。歩道除雪で登録されている人だけでなく、ボランティアにも保険を適用させる必要があります。



洗平町内会長
吹越久一さん
Fukkoshi Kyuichi

子どもの安心・安全を守る 青年部に感謝しています

鶉久保町内会は三沢市に隣接しています。比較的積雪量も多く、冬になると歩道除雪が常に心から離れません。

平成19年にコミュニティ助成事業で3台の除雪機を購入し、活用しています。積雪や量などを推し量りながら、青年部に除雪出動を依頼します。早朝または夕方に作業は始まりますが、みんな自分の仕事をやりくりして作業しています。「子どもたちが安心、安全に登下校できるように」と。本当に感謝しています。



鶉久保町内会長
日野口和子さん
Hinoguchi Kazuko

地域への思いやつながりが これからは大切になるはず

青葉には木ノ下小学校があり、毎日たくさん子どもたちが通っています。

青葉町内会には現在、5台の歩道除雪機があります。コミュニティ助成事業を活用しながら、町内会や子ども会で購入したものです。雪が降れば、朝早くから除雪を行います。

地域への思い、つながりはこれから大変重要になると思います。町内会だけでなく、学校や行政との役割分担をしながら、これからも頑張っていきます。



青葉町内会長
新山昌さん
Niiyama Akira

地域を協力を支える町内会は 互助の精神に基づく大切なもの



歩道除雪で冬は大活躍する町内会。もちろんこれだけでなく、防災活動やイベント、環境整備活動など、さまざまなことを自主的に行っている。町内会は任意の団体とはいえ、地域の公共的な役割を果たす、大変重要な組織だ。

地域で安心し、快適に生活していくためには、「互助」の精神を持つことが大切だ。

しかし近年、町内会への加入率が次第に下がってきている地域もある。町内会が行う活動は、町内会に所属していない人に対しても恩恵を与えるものが数多くある。▷ごみステーションの管理▷街灯の管理▷道路清掃一などがその例だ。

地域の人々と共に汗を流し、喜びを共有できる町内会に、積極的に加入してほしい。

小型除雪機などの購入には コミュニティ助成事業を活用



歩道を除雪する場合、便利な機械として小型歩道除雪機がある。しかし1台あたり30～80万円ほどの価格で、簡単にそろえるのはなかなか難しい。

多くの町内会はコミュニティ助成事業を活用し、これらの機械を購入していることが多い。

この事業は宝くじの収益金をもとに、地域活動を応援するもの。毎年

9月ごろに申請を受け付けている。機械をそろえる前に▷誰が除雪を行うのか▷どのようなルートや範囲を除雪するのか▷どのように管理するのか一などを、地域の人同士でしっかり話し合っておくことが大切。興味のある町内会などは、気軽に問い合わせしてほしい。

企画課 ☎ 0178-56-4701



▲おいらせの冬の名物、ホッキ貝は12月から本格的な漁が始まる。奥入瀬川から流れる豊富なミネラルは、資源豊かな海には欠かせない



▲八甲田山系に積もった大量の雪は、春の雪解けと共に奥入瀬溪流へと流れ出す。およそ70%の流域に、山の恵みを供給し続ける



八甲田大岳（左、標高1,585m）、井戸岳（右、標高1,550m）には、7月を過ぎても雪渓が残る。雪解け水は豊富な栄養分と共に、奥入瀬川へ注ぐ



▲昔も今も子どもたちは雪遊びが大好き。雪が積もると子どもたちは雪だるまや雪合戦、かまくらづくりに夢中になる



▲おいらせの農業は、奥入瀬川の豊富な水があつてこそ成り立つもの。冬の間に蓄えられた山の水は、稲作には特に欠かせないものだ



▲毎年秋になると奥入瀬川に帰ってくるサケ。雪解け水は栄養分を奥入瀬川や太平洋に注ぎ込み、たくさんの生き物をはぐくんでいる

取材を終えて

雪は冬の代名詞。昔から子どもたちは雪が降ると、はしゃぎながらミニスキーやそり、かまくら作りで楽しんだ。最近は温暖化の影響なのか、以前に比べて雪は少なくなってきたように思う。

しかし大量に積もった雪は、人々の日常生活に大きな支障を来す。そのため、行政は業者と力を合わせ、除雪作業を行う。それでも住民のニーズすべてに応えられないのが現状だ。

地域の力を結集し、歩道除雪に汗を流す人たちがたくさんいる。その努力のおかげで、子どもたちは笑顔で学校へ登校することができる。地域の力の積み重ねは、行政が対応しきれないところをカバーしているのだ。

除雪の苦勞、雪の恩恵を考えながら、これからも雪と上手に付き合っていくことが必要だ。

意見や感想を寄せてください

●企画課 ☎ 0178-56-4701

地域整備課 ☎ 0178-56-4702

除雪作業で深まる家族のきずな
メタボ解消にも効果は大きい
雪は冬の象徴でもある。昔も今も、雪が積もると子どもたちは大喜びで雪遊びに興じる。雪合戦やかまくらづくりなど、子どもたちは満面の笑顔で楽しむ姿が見られる。

雪の恩恵を被っているのは、農業や漁業だけではない。雪解け水の伏流水や奥入瀬川の清らかな水は、古くから地酒づくりには欠かせないものだった。おいらせを代表する日本酒「桃川」は、奥入瀬川の水がなければできないものだ。もしも雪が積もらなければ、おいらせの農業や漁業、商業に大きな影響を与える。積もると厄介者と思われがちな雪。実はわたしたちの生活に大きな恩恵を与えている。

雪が降り積もる北国でなければ、得られない恩恵はたくさんある。雪と共に生活することは、決してマイナス面だけではないのだ。雪と上手に付き合っていこう。

白銀の世界の美しさを目にし、雪の冷たさを肌に触れる。四季の移り変わりを子どもたちの目に実感できるのは、北国でなければ得られない、貴重な体験になる。庭先に降り積もった雪を、家族で取り除く作業は、確かに重労働だが、家族のきずなを深められる。除雪すれば、寒い冬でも体はすぐに温まってくる。仮に体重60kgの人がスコップを使って1時間の除雪をした場合、およそ400kcalが消費されるといわれる*。近年注目されているメタボリックシンドロームの予防にも、大きな効果がある。

雪と共に 生きる

降り積もる雪は、どうしても厄介者にされます。しかし冬期間にたくさんの雪が降るおかげで、わたしたちが受ける恩恵もたくさんあるはず。本州最北端の青森県にあるわが町だからこそ、これからも雪と上手に付き合うことが必要です。

冬に積もった大量の雪は豊富な養分と共に川へ注ぐ

わたしたちの町を流れる奥入瀬川は、町のシンボルともいえる存在。母なる川はわたしたちに恵みを与え、昔から農業、漁業、商業に繁栄をもたらしてきた。

春になると、八甲田山系*に10分近く積もった雪は一旦に解け出し、奥入瀬川へ注ぎ込む。雪は山の栄養分やミネラルを豊富に取り込みながら、奥入瀬川、そして太平洋に注いでいくのだ。

日本人の主食であるコメの栽培には、豊富な水が欠かせない。奥入瀬川の雪解け水は、川から枝分かれする水路を流れ、水田へと注ぐ。豊富な雪があつてこそ、年間を通じて水を十分に確保することができる。

栄養分が豊富な奥入瀬川の水は、魚介類にも大きな影響を与える。雪解け水のため、年間を通じて水温の低い奥入瀬川は、サケの遡上する川としても有名。毎年10万匹以上のサケが遡上する。雪解け水は太平洋にも注ぎ込む。「おいらせのホッキ貝のうまみは、ミネラルを豊富に含む奥入瀬川の水の影響が大きい」、そう話す漁業者もいる。

* 2 『コトコト減らそう！100kcal（運動編）』（東京法規出版）より

* 1 八甲田山は「八つの山が甲のように連なる」ことから呼ばれる名称。最高峰の大岳をはじめ、井戸岳、小岳（標高1,478m）、赤倉岳（標高1,548m）などの山が連なる。

無縁仏の安らかな眠りを祈る
無縁仏供養塔開眼法要



無縁仏供養塔開眼法要・納骨供養祭は12月11日、町営霊園で開かれました。当日は関係者10人余りが式典に出席しました。

これは8月に建立された供養塔へ、聖福寺、法運寺に保管されていた無縁仏8体の納骨を行ったものです。

小坂仁道聖福寺住職＝阿光坊＝は、無縁仏の霊を安らかに慰めました。関係者も住職に続き、仏の安らかな眠りを祈りながら、手を合わせていました。

◀無縁仏の安らかな眠りを祈る小坂住職

一足早くメリークリスマス
木ノ下児童館クリスマス会



木ノ下児童館のクリスマス会は12月12日に開かれ、およそ80人の参加者が集まりました。

子どもたちはクリスマスにちなんだ歌や出し物などを楽しく披露。子どもだけでなく、保護者からも惜しみない拍手が送られました。

昼食後は木ノ下小学校の福寿邦彦校長が変装したサンタクロースが登場。普段と違う福寿校長の姿に、子どもたちも大喜びでした。当日司会を務めた松田ふうかさん（木ノ下小2年）は「本当に楽しい一日でした」と振り返りました。

◀福寿校長の変装したサンタ姿に、子どもたちも大喜び

消防力の向上に更なる期待
小型ポンプ付き軽消防自動車受納式



社団法人日本損害保険協会は12月14日、おいらせ町へ小型動力ポンプ付き軽消防自動車を寄贈しました。町へ寄贈された車両は町消防団、そして百石消防団第1分団へと引き渡されました。

第1分団が主に管轄する本町地区は、細い道路が多く、大型消防車両が入り込めない道も多くあります。今回の車両配置により、より小回りの利いた消防活動が期待されます。

西館松治分団長は「さらに消防団としての責任を感じます。住民の安全のため、頑張ります」と気を引き締めました。

◀新たに配置された車両に笑顔の百石消防団第1分団員ら

地域の課題を気軽に話し合う
元気井戸端会議



元気井戸端会議は12月14日、いきいき館で開かれました。この会議は、高齢者を対象に行うもので、町長と気軽に話し合いながら、よりよい地域づくりを目指すために開催しています。

当日の参加者はおよそ30人。環境整備や生活基盤整備、新型インフルエンザの対応や高齢者同士のつながりの重要性など、さまざまな意見が出されました。

三村町長は「地域のみなさんでなければ分からない課題も多い。まちづくりへの参考にしたい」と話していました。

◀日常感じている課題や疑問を話し合う参加者たち

母なる川を次世代に引き継ぐ
町連合青年団の奥入瀬川清掃活動



町連合青年団（田中繁幸団長）は11月8日、奥入瀬川の清掃活動を行いました。これは町を流れる奥入瀬川の清掃活動を通じて、団員の結束を深めるために行われたものです。

奥入瀬川流域およそ10kmの区間を、団員らは丁寧に清掃。収集されたごみは、軽トラック2台分ほどになりました。

今年新たに入団した堤大輔団員＝向山＝は「思っていたよりも、ごみはたくさんありました。きれいな奥入瀬川を、将来へ引き継ぐため、これからも活動を続けていきたいですね」と意気込んでいました。

◀丁寧にごみを拾う堤団員（写真左）

毎日のお仕事お疲れ様
あゆみ保育園・百石幼稚園の訪問



あゆみ保育園、百石幼稚園の園児らは11月20日、本庁舎へ三村町長を訪問し、プレゼントを手渡しました。これは勤労感謝の日にちなみ、両園が毎年行っているものです。

今回は園児手づくりのリースや鉛筆立てをプレゼント。受け取った三村町長は「ありがとうございます。みんなも健康に気をつけてくださいね」と話していました。

柴田琉登くん（百石幼稚園、5つ）は「少し緊張したけど、ちゃんと町長へプレゼントを渡せて良かったです」と笑顔で感想を聞かせてくれました。

◀三村町長へプレゼントを渡し、笑顔の園児ら

バザー売り上げ金を役立てて
百石郵便局は奨学資金を寄付



百石郵便局の青沼修一局長は11月25日、本庁舎を訪れ、奨学資金58,501円を寄付しました。

これは9月に開かれたおいらせ百石まつりの際、郵便局で行ったバザーの売上金です。バザーで販売された品物は、公共機関や企業などの協力を得て提供された品物です。今年で7回目になります。

青沼局長は「町の子どものために活用してほしい」と目録を三村町長へ手渡しました。町長は「ありがとうございます。有効に活用させていただきます」と感謝しました。

◀寄付金目録を町長へ手渡す青沼局長（左）

地球に優しい移動手段
児童館へ電動自転車新たに配置



北部児童センターみらい館にじの会（沼辺菜穂美会長）は12月2日、財団法人こども未来財団から4台の電動自転車を寄贈されました。これは子育てに優しい社会づくりを目指すための事業へ申請し、配置が決定したものです。

これらの自転車は、町内にある4つの児童館へ、それぞれ1台ずつ配置することにしています。

北部児童センターの松林行子さん＝木ノ下＝は「文書配布やパトロールなどがしやすくなります。車と違って地球に優しい移動手段ですね」と喜んでいました。

◀電動自転車の配置を笑顔で喜ぶ松林行子さん（右）と子どもたち

平成21年分の所得申告を受け付けます

申告の受け付けは 2月10日から行います

2月10日から行われる申告の受け付けは、左の一覧表のとおりです。この申告は所得税の確定申告だけでなく、平成22年度分の町・県民税や国民健康保険税などの課税、保育料の算定などの資料になります。忘れずに申告してください。

申告が必要な人

平成22年1月1日現在、おいらせ町に住む人は、平成21年中の所得の有無にかかわらず、基本的に申告を必要とする必要

申告が不要な人

① 税務署に確定申告書を提出

があります。

なお、青色申告書の人、株式の譲渡所得、先物取引による所得がある人、相談内容が複雑な人は、町で受け付けできません。直接十和田税務署で申告してください。

申告受け付けの日時や対象地域

月	日(曜)	申告を受け付けする地域
2月	10(水)	根岸、黒坂、住吉町、曙、奥入瀬団地、芦野団地
	12(金)	堀切川、川口、三田、三田団地、染屋
	15(月)	明神下、横道、青葉
	16(火)	洋光台、緑ヶ丘
	17(水)	一川目一丁目、中野平、苗振谷地、向坂
	18(木)	一川目二丁目、一川目三丁目、若葉
	19(金)	一川目四丁目、三本木、鍋久保
	21(日)	町内全地区
	22(月)	深沢、三本木、新敷
	23(火)	日ヶ久保、間木、木崎
3月	24(水)	二川目一丁目、二川目二丁目、本村
	25(木)	二川目三丁目、鶉久保
	26(金)	二川目四丁目、向山
	1(月)	藤ヶ森(下屋敷)、豊原、錦ヶ丘
	2(火)	藤ヶ森(後田、下明堂、新助川原)、木ノ下、苫米地
	3(水)	藤ヶ森(牛込平、苗平谷地)、木ノ下、苫米地
	4(木)	本町(一〜五丁目、八幡町、中央町)、秋堂
	5(金)	本町(六丁目、下前田)、洗平、豊栄
	7(日)	町内全地区
	8(月)	本町(肴町、大工町)、阿光坊
	9(火)	本町(七軒町、新町)、木内々、有楽町
	10(水)	上新町、木内々、有楽町
	11(木)	町内全地区
	12(金)	町内全地区
	15(月)	町内全地区

日曜日の受け付けは大変混雑することが予想されます。できるだけ自分の住んでいる地区の受付日に合わせて申告してください。

- 受付会場 本庁舎2階 201会議室
- 受付時間 9時から16時まで(ただし12時から13時まで
は休憩時間)

申告により所得税が 還付される人

- ① 年末調整を受けた給与所得者で▽医療費控除▽住宅借入金控除▽寄付金控除を受ける人
- ② 年の途中で退職し、再就職せずに年末調整を受けなかった人
- ③ 予定納税をした事業所得者で、その額が申告所得税の額を上回る人

申告に必要なもの

- 所得が計算できるもの
- ① 給与所得者/給与の源泉徴収票の原本、給与明細
- ② 年金所得者/年金の源泉徴収票の原本
- ③ 営業など不動産所得者/収支内訳書、収入金額と必要経費の分かる帳簿や領収書など
- ④ 農業所得者/収支内訳書、収入金額と必要経費の分かる帳簿、出荷証明書や領収書など

なお、還付申告時には源泉徴収票と、本人名義の預金通帳が必要です。



※ 収支内訳書はあらかじめ計算をしておいてください。

所得控除が計算できるもの

- ① 医療費の領収書は、治療を受けた人ごと、医療機関ごとに分けて集計してください。
- ② 生命保険や損害保険の控除証明書
- ③ ▽国民健康保険税▽介護保険料▽国民年金保険料など、社会保険料の領収書や証明書など、金額の分かるもの
- ④ 障害者控除該当者は身体障害者手帳または障害者控除対象者認定書など。要介護認定者は障害者控除対象者認定書(介護福祉課に申請

し受領してください)

本人の印鑑

本人の預金通帳

□ 確定申告書(ただし、税務署から確定申告書が郵送された人に限ります)

代理申告

本人に代わって家族などが申告する場合は、本人の「申告に必要なもの」を準備し、次のことを本人にあらかじめ確認しておいてください。

- ① 勤務先の名称、所在地、電話番号および仕事の内容
- ② 扶養家族がいる場合は、その人の氏名、生年月日、住所

振替納税を 利用してください

所得税を納付する場合は、振替納税を利用してください。預金口座から自動的に引き落としされるので、大変便利です。預金口座の金融機関名、支店名、口座番号をメモして来てください。手続きをするときには、通帳に使っている印鑑が必要です。

申告をしないとい ったいどうなるの

① 納め過ぎた所得税がある場合でも、還付を受けることはできません。

② 住民税は個人の所得から、

所得控除を差し引いて課税所得金額を計算し、それに税率をかけて税額を決めます。所得税控除には、医療費控除など確定申告をしなければ控除されないものもあります。そのため、住民税が高く課税されてしまうことがあります。

- ③ 所得証明などの交付を受けられません。
- ④ 国民健康保険の加入者が申告をしないと、一定の所得以下の人に適用される軽減措置を受けることができなくなります。国民健康保険加入者は、収入の有無にかかわらず、必ず申告してください。

相談時間の短縮に 協力してください

医療費控除の領収書や事業所得申告の収支内訳書、領収書が整理されていないと、申告に時間がかかります。その結果、ほかの人の迷惑になります。必要書類、領収書はあらかじめ整理してください。待合室には電卓や収支内訳書を用意しています。気軽に利用してください。



家庭ごみの減量▼▼▼みんなの力を分けてください

正しい分別はごみ減量の第一歩です



プラスチックも洗浄されなければ資源になりません

ごみの減量、リサイクルのためには、正しい分別をすることが大切です。プラスチックやアルミ缶などは、大切な資源に生まれ変わります。しかし、資源ごみの中には、分別がきちんとされないためにリサイクルできないものもあります。家族みんなで、ごみの分別を徹底しましょう。

生ごみは絞るだけで大幅に減ります



ペットボトルを少し加工した道具を使うと、生ごみから水分を減らすことができます

1日の生ごみを50ℓ水切りするだけで、1世帯あたり年間およそ18ℓのごみ減量につながります。町全体でおよそ9千世帯ですから、全体では164ℓの減量です。燃えるごみの焼却には、1ℓあたり2万円ほどかかるといわれています。つまり、300万円以上の経費節減につながります。みなさんが生ごみを絞るだけで、ごみの重量は大幅に減るので、

空き缶などは貴重な資源に生まれ変わります



正しく分別してこそ「資源」。でなければ「死源」

町は子ども会や町内会などの廃品回収活動に対し、奨励金を交付しています。回収して業者へ売ったびんや空き缶、古雑誌などに対して、1ℓあたり2円を交付します。資源ごみはきちんと分別すれば、貴重な資源へと生まれ変わります。資源の少ない日本だからこそ、リサイクル活動は将来につながる大切な活動になります。詳細は気軽に問い合わせてください。

生ごみ処理機補助金の募集期間を延長します

5万円の生ごみ処理機を買うならば
3万円を上限に補助金を交付します。
2万円の負担で生ごみ処理機を買えます。

9千円のコンポストを買うならば
3分の2を上限に補助金を交付します。
3千円の負担でコンポストを買えます。

補助率は基本的に購入するものの3分の2です。ただし4万5千円以上の場合、3万円を上限に補助金を交付します。

町は家庭用生ごみ処理機の購入に対し、補助金を交付しています。生ごみを7分の1程度の重さに減らし、肥料として資源化することもできます。この購入に対する補助金制度の募集期間を、本年3月31日まで延長します。詳細は気軽に問い合わせてください。

環境保健課
☎0178(56)4218

子どもたちの未来のために、かけがえのないこの地球のために

家庭ごみを減らしましょう



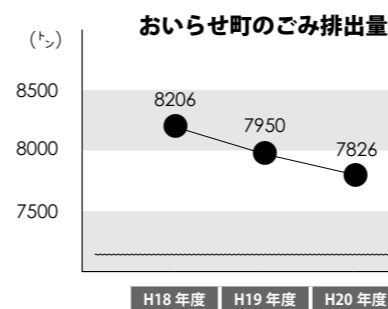
わたしたちの住む地球は、太陽系の第三惑星。奇跡的な確率で生命をはぐくんだといわれています。しかし地球温暖化など、人間が引き起こす問題は将来の地球環境を危ういものにしてしまいます。まずは家庭のごみを、本気で減らしてみませんか。きっと地球にとってプラスにつながるはず。わたしたちの愛する子どもたちの未来のために、わたしたちの住むかけがえのない地球のために。

家庭ごみを減らせば、町の経費負担も減ります

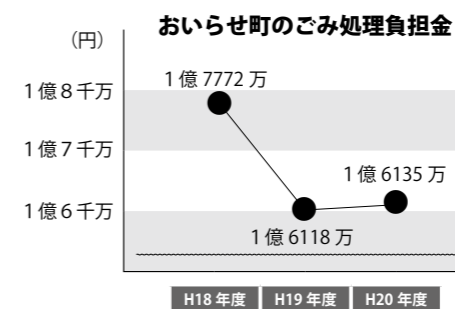


ごみ減量は処理場の延命にもつながる

家庭から出されるごみは、12種類に分別されます。そして、十和田地域広域事務組合へ運搬され、処理されます。焼却や再利用、埋め立て処理に必要な経費は、ごみの総排出量で決まります。ごみの量が多ければ、町が負担するお金は増えていきます。町は経費削減と快適な居住環境を守るため、ごみの発生を抑え、減量化と再利用を推進しています。地域一人ひとりの力の積み重ねが、大変重要になるのです。また、ごみ焼却の後に発生する焼却灰は、五戸町の処理場で埋め立てされています。その処理能力は、あと8年分ほどしかないといわれています。ごみ処理場の延命を図るために、一人ひとりの家庭ごみの減量は極めて重要な取り組みです。



おいらせ町から排出されるごみの量は、次第に減ってきていることが分かる。空き缶や古紙などのリサイクルが次第に進んできたためと考えられている。




ごみの総排出量は減少しているが、ごみ処理のための負担金は、平成20年度に若干増加している。広域全体から見たおいらせ町のごみ排出量比率が高まったため。

おいらせ町のごみ分別

1 燃えるごみ	赤字の袋
2 燃えないごみ	青字の袋
3 缶	緑字の袋
4 びん	
5 紙パック	
6 段ボール	ひもで縛る
7 新聞	
8 雑誌・チラシ	
9 紙製容器	
10 ペットボトル	緑字の袋
11 プラスチック製容器	
12 粗大ごみ	有料予約

馬橋
馬に引かせる大形の雪櫃を、馬橋といった。明治時代初期に北海道でロシア製の馬橋が移入製作されて急速に広まり、開拓




の進む原野で伐採された木材の運搬に大きな役割を果たした。その後、ほかの荷物の運搬や人の搬送にと活用範囲も広がり、東北地方でも使われるようになった。ナラやイタヤの木で作る台木の前方を曲げて底に帯鉄を打ち付け、4、5本の束木を立て、その上に荷台を組んである。津軽地方では、明治16（1883）年に初めて馬橋が使われたという。おいらせ町では、

いつごろから馬橋が行き来するようになったのだろうか。馬橋が雪櫃を上げながら向こう側から近づいて来ると、ずっと手前の道端で雪を踏み固め、その場によけて馬橋の通り過ぎるのを待っていたものである。昭和30（1955）年代になると自動車普及により、じきに馬橋は姿を消していった。
(文化財保護審議会委員 櫻庭俊美)

伝統文化子ども教室合同発表会

文化庁委嘱事業として、町内の文化団体が指導している伝統文化子ども教室。その合同発表会を行います。気軽に参加してください。

- 日時 2月7日(日) 10時から
- 場所 みなくる館
- 内容 郷土芸能、華道、茶道、箏曲、日本舞踊など



新着図書 [図書館]

- 一般書
 - わたしのなかのあなた / ジョディ・ピコー
 - 死刑でいいです / 池谷孝司
 - この「くに」の面影 / 筑紫哲也
 - 聖徳太子の密使 / 平岩弓枝
 - ニサッタ、ニサッタ / 乃南アサ
 - ファミリーツリー / 小川糸
 - べにや長谷川商店の豆料理 / べにや長谷川商店
 - 男おひとりさま道 / 上野千鶴子

新着図書 [中央公民館]

- 一般書
 - 天に堕ちる / 唯川恵
 - 野球は人生そのものだ / 長嶋茂雄
 - 吠う合戦屋 / 北沢秋
 - ガミガミ女とスーダラ男 / 柳月美智子

新着図書 [北公民館]

- 一般書
 - かぜと新型インフルエンザの基礎知識 / 岡部信彦
 - 神様のカルテ / 夏川草介
 - 雨月物語 / 岩井志麻子
 - チッチと子 / 石田衣良
 - 星をつくった男 / 重松清

ウエルかめ 上 / 相良敦子

新着図書 [北公民館]

- 一般書
 - 今月の本展示
 - ★ 一般★ 「何をやるにも体が資本」 正月太り対策に。ダイエツ

★ 児童★ 「トラの本」

ト本や自宅でできるストレッチの本、健康づくりの本

● 今月の読み聞かせ会 ●
日時 1月9日(土)、23日(土) 14時から

● 場所 図書館内あそびと

● 幼児のための読み聞かせ & 布絵本で遊ぶ会 ●
日時 1月21日(木) 10時半から (毎月第3木曜日)

● 一月の休館日 ●
1日(金) から 4日(月) まで、12日(火)、18日(月)、25日(月)

★ 「読み聞かせスクール」の受講者を募集します
日時 1月16日(土)、30日(土) 14時から16時まで

● 講師 高森むつみさん

● 対象 小学生以上の町民 (親子で参加可能)

● 募集人数 20人

● 締め切り 1月13日(水)

弁論発表

携帯電話は便利なものですが、使い方を誤ると大変なことになります。わたしも以前悪質なサイトにつながつてしまい、大変な思いをしました。上手に活用するためにも、家族との話し合い、自分自身の強い気持ちが必要です。
(木ノ下中、澤上歩美さん)

弁論発表

万引きはれっきとした犯罪です。万引きのために倒産に追い込まれる店や、犯人を追いかけた店員が殺傷される事件もあります。善悪の判断をしつかりつけるには、日々の生活での人格形成が大変重要だと思います。
(下田中、八重垣稜佑さん)

講演 「子どもに学ぶ」

これまでの教員生活で、いわゆる「荒れた学校」での勤務も経験しました。校内暴力や非行、いじめや自殺など、問題行動には家庭の影響が極めて大きいと考えます。子どもたちはしっかりと大人を見ています。
(堀口中、西館章喜校長)

青森県教育委員会は、地域の歴史を楽しく学ぶことのできる「地域キャンパス講座」を行います。

一般成人なら誰でも参加できます。おもりに県民力レゾ認定講座です。受講料は無料です。気軽に申し込んでください。

第四講座

● 日時 2月4日(木) 13時半から

● 場所 東公民館

● 演題 本州アイヌの実像

第五講座

● 日時 2月18日(木) 13時半から

● 場所 東公民館

● 演題 おいらせ町を掘る

● 講師 小谷地肇(町教育委員会学芸員)

● 問い合わせ 生涯学習課 0178(56)4276 または北北教育事務所 0176(62)2128

青森を掘る。歴史を考える。


に迫る

● 講師 関根達彦さん(弘前大学人文学部准教授)

あいさつルーム File_01 本村保育園

あいさつは心と心の通い合い。最も基本的なコミュニケーション手段です。あいさつを交わし、明るく毎日を過ごしましょう。

本村保育園(成田ユミ園長)の玄関には「こんにちは」の札を下げた、かわいいドラえもん彫刻が飾られています。子どもたちは日替わりで当番を決め、毎日昼前と夕方に札を交換します。玄関に入ると、子どもたちの元気なあいさつが響きます。成田園長は「あいさつはコミュニケーションの基本。幼児期から明るく元気なあいさつができるよう、子どもたちに伝えていきます」とっこり。毎日のあいさつが、子どもたちを心身共に健やかに育てます。



ドラえもん彫刻と当番の子どもたち。
左から北向幸栄君、堤悠輝君、吉田凌空君

町内小学校対抗将棋大会

- 日時 1月24日(日) 13時から
- 場所 大山将棋記念館
- 参加条件 3人で構成するチーム。各小学校から何チームでも参加できます。

全国奨学生将棋名人戦青森県おいらせ予選会

- 日時 2月7日(日) 13時から
- 場所 大山将棋記念館
- 参加条件 小学校5年生までの児童。上位入賞者は、2月21日開催の県大会へ出場します。

町内職場・町内会対抗将棋大会


- 日時 2月21日(日) 10時から
- 場所 みなくる館
- 参加条件 町内に住所のある人、または町内の学校や職場へ通学、通勤している人。3人一組のチームで参加してもらいます。

岡全国将棋祭り実行委員会 (みなくる館内)
☎ 0178-52-3900

町消防団合同出初め式

消防団の勇壮な行進をご覧ください。当日は会場周辺が一時交通規制されます。注意してください。

- 日時 1月17日(日) 観閲 / 10時から 分列行進 / 10時20分から 式典 / 10時50分から
- 場所 本庁舎周辺および交流センター
- 問い合わせ 総務課 ☎ 0178-56-2166



OIRASE BRAND_File ①

【全国に誇れる】
おいらせが **ブランド**

百石栗



Momoiishi-guri

かわいらしい栗の形をしたお菓子「百石栗」は、おいらせの銘菓の一つ。藤沢製菓で40年以上も変わらぬ味で作られてきた、ふるさとのお菓子だ。
 口にする、ふんわりと柔らかい皮の中から、上品な甘さの白あんが姿を現す。あんには細かく刻まれた栗が混ぜ込まれ、触感にアクセントを加える。表面の下部に

はケシの実がまぶされ、ほどよい香ばしさを感ずる。緑茶と相性抜群のお菓子だ。
 藤沢製菓に嫁ぎ60年余りになる藤沢ヨ子さんは「北海道から九州まで、全国の皆さんから大変好評のお菓子です」とにっこり。ぜひ一度は味わってほしい。
●問い合わせ 藤沢製菓本店
 ☎0178(52)3741

町はおいらせブランド推進協議会と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。本年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組んでいます。興味のある人は、ぜひ入会してください。

●問い合わせ
 おいらせブランド推進協議会
 ☎0178-56-2019
<http://www.oirasebrand.com/>

おいらせブランド 検索

戸籍の窓

11月届け出分。本誌への掲載を希望した人だけ載せています

こんにちは赤ちゃん

17件/届出25件

- 中嶋 英玲南(秀登・かおり) 一川目
- 大坊 拓弥(幸治・明子) 大工町
- 馬場 氷吾ノ介(秀美・牧子) 秋堂
- 成田 潤(武之・信子) 苗振谷地
- 立崎 春歌(政彦・文子) 青葉
- 山本 幸和(智也・純子) 木崎
- 森 基(政人・奈美恵) 洋光台
- 小比類 巻慶也(純也・沙耶香) 住吉町
- 下久保 碧人(雄二・枝美子) 緑ヶ丘
- 中村 都和(喜美雄・ゆかり) 間木
- 立花 真士(健一・康子) 五丁目
- 吉田 美優(賢・知里) 一川目
- 佐野 果凜(真也・千賀子) 緑ヶ丘
- 佐々木 駿輔(英樹・真紀子) 三田
- 金見 友希(勉・篤子) 青葉
- 岩城 宏介(智明・菜穂子) 阿光坊
- 苔米地 杏南(啓二・藍) 奥入瀬団地

結婚おめでとう

8件/届出13件

- 松林展広 二川目
- 高橋葉子 八戸市
- 小向義智 一川目
- 松澤良美 洋光台
- 中村慎吾 肴町
- 小坂亜由美 五丁目
- 種市卓也 三本木
- 鷹幸久美子 黒坂
- 木内々 西館一寿
- 秋田県 鎌倉ひとみ
- 根岸 西村一三
- 根岸 平陽湖
- 奥入瀬団地 津川祐二
- 奥入瀬団地 市ノ渡美幸
- 一川目 馬場勇太
- 八戸市 小向和枝

お悔やみ申し上げます

10件/届出14件

- 三村 六太郎 80 日ヶ久保
- 柏崎 松雄 75 秋堂
- 橘 モミ 87 木ノ下
- 木村 正光 75 八戸市
- 種市 由次郎 70 向山
- 西館 武太郎 78 深沢
- 上野 兼太郎 92 二川目
- 田中 シモ 95 本村
- 成田 久松 92 阿光坊
- 倉館 正留 62 二川目

おいらせ町の人口

(12月1日現在)

	人口	前月比
男	12,227	+25
女	12,919	+32
計	25,146	+57
世帯数	9,238	+21

山本さん家族に待望の第二子、幸和ちゃんが誕生(左から佳朋ちゃん、智也さん、純子さん、幸和ちゃん)

教育

町奨学金奨学生を募集します

奨学課 ☎0178(56)4258

- 申請資格 ▽1年以上町内に住む人の子ども▽平均成績が3.5以上▽過去3年分の町税を滞納していない人
- 母子家庭、父子家庭の場合は平均成績以下でも受け付けし、選考委員会で決定します。
- 貸与月額限度と人数
 - ①大学・大学院/4万円以内/10人以内
 - ②高専・短大・専門学校/3万円以内/6人以内
 - ③高等学校/1万5千円以内/2人以内
 現在の予定です。変更する場合があります。
- 償還期間 卒業の月の1年後から貸与期間の2倍の期間で、全額を償還してください(無利息)。
- 申込期間 3月3日(水)から3月23日(火)まで
- 必要書類

健診

各種健診は一月中に終了します

環境保健課 ☎0178(56)4218

- 特定健診・健康診査(要)
- 選考 4月上旬開催予定の町奨学生選考委員会での審査決定後、結果を通知します。
- 選考 4月上旬開催予定の町奨学生選考委員会での審査決定後、結果を通知します。

1月の納税相談日

税務課 ☎0178-56-4704

日中お仕事などで、税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば各種税金を納めることもできます。お気軽にご利用ください。

	会場	月日	時間
夜間	本庁舎(税務課)	1月5日(火)	17:15-20:00
		1月19日(火)	
休日	本庁舎(税務課)	1月12日(火)	8:30-17:00
		1月26日(火)	

※1月3日(日)は出稼ぎ者納税相談も行っています

◎2月1日(月)は次の税金の納付期日です。忘れずに納めましょう。

国民健康保険税(第7期)、介護保険料(第7期)、後期高齢者医療保険料(第7期)
 ※納め忘れ防止、手間のかからない口座振替が便利です。

統計調査

2010世界農林業センサスを実施します

企画課 ☎0178(56)4701

- 対象 一定規模以上の農業活動を行う個人や組織
- 方法 調査員が調査票を配布、回収します。
- 乳がん検診(要予約) 1月25日(月)まで/おいらせ病院(対象/40~50歳代で、偶数年齢の女性)
- 歯周疾患検診(要予約) 1月29日(金)まで/木村歯科医院、昆歯科医院、あとむら歯科医院、めとぎ歯科医院
- 各病院の休診日などは除きます。

祝成人

撮影ご予約承り中

成人式用 衣装レンタル 振袖 ¥38,000~
(着物、帯、袴、草履、バッグ、小物一式含む)

Tel:0178-52-2525 / Fax: 0178-52-2603
 Web: Yahoo! や Google で「アトリエゆう」を検索

労働大臣検定一級写真技能士の店
 有限会社 **アトリエゆう**

※有料広告掲載欄です

1月 おいらせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考	
1	㊤				
2	㊦				
3	㊧				
4	㊨				
5	㊩	1歳6カ月児健康診査 認知症予防教室	受け付け／12:30-12:45 9:30-12:00	いきいき館 北公民館	対象／平成20年6月生まれの子ども
6	㊪	2～3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け／10:00-10:30 受け付け／13:00-13:30	いきいき館 いきいき館	対象／平成21年10月生まれの子ども 月齢は問いません
7	㊫	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
8	㊬				
9	㊭				
10	㊮	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
11	㊯				
12	㊰	2歳6カ月児健康診査	受け付け／12:30-12:45	いきいき館	対象／平成19年6月から7月生まれの子ども
13	㊱	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
14	㊲	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
15	㊳				
16	㊴				
17	㊵				
18	㊶				
19	㊷				
20	㊸	健口栄養講座 9～10カ月児健康相談	9:30-12:00 受け付け／10:00-10:30	北公民館 いきいき館	対象／平成21年3月から4月生まれの子ども
21	㊹	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
22	㊺	3歳児健康診査	受け付け／12:30-12:45	老人福祉センター	対象／平成18年7月生まれの子ども
23	㊻				
24	㊼				
25	㊽				
26	㊾				
27	㊿	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
28	Ⓚ	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室	9:30-12:00 11:00-12:00	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
29	Ⓛ	愛の献血	10:00-16:00	本庁舎	
30	Ⓜ				
31	Ⓨ				

編集後記

▽わたしたちの住む町は、日本海側に比べると、降雪量は少ない地域です。それでも1月以降は、時折大雪に見舞われます。特に春先に降る、重く湿った雪は、除雪するのもなかなか大変です▽地域の人々が力を合わせ、小型除雪機を使って歩道を除雪している姿をよく見かけます。寒い中、しかも朝早く作業を行っていることに、頭が下がります▽雪が降ると、わたしの祖母や母は朝早くから庭の雪かきをしています。わたしも少し早起きして、雪かきをしようと思います▽2010年がいよいよ始まります。今年もさまざまな場面で、いろいろな人との出会いがあることと思います。みんなの笑顔や思いをちりばめ、おいらせらしさあふれる広報をお届けしたいと考えます。今年もよろしくお願ひします。

企画課 広報担当
松林 拓大

期限付臨時職員を募集します

1. 募集する職種や予定人員など

採用予定者は原則としておいらせ町民が対象です。障害のある人は▷身体障害者手帳の交付を受けている▷自力で通勤でき、介助者なしで職務を遂行できること一を満たせば応募できます。いずれも任用期間は4月2日から9月30日までです。ただし、平成23年3月までの期間、更新を行うことがあります。なお、賃金は町臨時的任用職員管理規程に基づき支給します。

職種	予定人員	応募するために必要な資格
一般事務 ^{*1}	23人	高等学校以上の学校を卒業した人
保健師	2人	保健師の資格を取得した人
看護師	13人	看護師の資格を取得した人
介護相談員	1人	保健師または看護師の資格を取得した人
介護認定調査員	1人	介護支援専門員または社会福祉主事任用資格を取得した人

^{*1}児童館、児童センターでの勤務を希望する人は▷幼稚園・小・中学校教員免許▷保育士資格▷児童福祉事業経験2年以上の人一のいずれかを有することが採用の条件になります。

2. 主な勤務先

職種	主な勤務先
一般事務	図書館、大山将棋記念館、みなくる館、おいらせ病院、児童センター、児童館など
保健師	環境保健課
看護師	おいらせ病院、訪問看護ステーション、環境保健課
介護相談員	地域包括支援センター
介護認定調査員	介護福祉課

3. 応募方法

- 応募期限 1月22日(金) 17時15分まで(受け付けは土日及び祝祭日を除きます)
- 提出書類 ①町指定の申込書(本庁舎、分庁舎、北部出張所に備え付けています。町ホームページからダウンロードすることもできます) ②資格証明書の写し^{*2} ③身体障害者手帳の写し^{*3}
- 選考方法 申込書による書類審査と面接試験です。試験日などの詳細内容は、後日通知します。
^{*2}保健師、看護師および保育士など資格を必要とする職務の場合 ^{*3}身体に障害のある人の場合

短期・短時間勤務臨時職員の登録を募集します

1. 登録募集する職種や必要な資格など

短期、短時間勤務の臨時職員が必要になった場合、限られた期間だけ採用する臨時職員の登録です。町で必要になったときに随時採用し、1日単位または時間単位の勤務です。登録によりほかの仕事への就職を妨げるものではありません。登録者が多い場合は、採用されない場合があります。登録有効期限は4月1日から平成23年3月31日までです。なお、申し込みの方法は、上記期限付臨時職員募集と同様です。

職種	登録するために必要な要件や資格
一般事務	おいらせ町民で、高等学校以上の学校を卒業した人
看護師	原則としておいらせ町民で、看護師の資格を取得した人

☎ 039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2 おいらせ町役場総務課 ☎ 0178-56-2166



磯嶋泰医師の診察を受ける北向フサさん=秋堂=。パーティションで仕切られた診察室は、採光を工夫し明るい空間になった



広々とした待合ホールは床や壁、照明を一新。橋本夢子事務員（左）、風張香看護師（右）もにっこり笑顔

間も、利用者が快適に過ごせるよう工夫されています。会話も弾み、和やかな雰囲気が漂います。

医師の診察を受ける診察室も、今回のリフォームで一新しました。従来、5つの診察室だったものを、7つに分けました。パーティションで仕切られた診察室は、医師とのコミュニケーションも円滑になりました。採光も工夫され、窓から注ぐ明るい光が空間を優しく照らします。

1階、2階のトイレは、車いすでも出入りできるトイレを増設しました。手すりも取り付けられ、安全に使うことができます。清潔感あふれる空間は、多くの利用者から大変好評です。

このリフォーム工事には、およそ2億5千万円の経費がかかりました。2カ年計画で進められた工事により、おいらせ病院はより使いやすい、快適な病院へと生まれ変わりました。

白倉院長は「おいらせ病院は地域医療を支える、重要な公立病院です。医療相談室も新設しました。これからも皆さんのために、スタッフが一丸となって頑張ります」と決意を新たにしていました。

Report

より快適な病院を目指して

おいらせ病院 リフォーム

奥入瀬川沿いに建つおいらせ病院は、町民の生命、健康を支える病院の一つです。今年の春から工事を行ってきたおいらせ病院のリフォームは、11月20日に完成を迎えました。

玄関から待合ホールに続く導線は、段差が取り除かれ、スロープになりました。車いすを使っている人も、容易に院内へ入ることができるようになりました。

待合ホールは床や壁、照明を一新。明るく快適な空間に生まれ変わりました。診察や支払いを待つ

Voice
利用者の声



川口リサさん

かわぐち・りさ (72、藤ヶ森)

ひざに痛みがありますから、毎週のようにおいらせ病院で診察してもらいます。待合室は本当に明るくなりました。トイレが洋式になったので、ひざに負担がからず、大変快適になりましたね。



袴田誠一さん

はかまた・せいいち (75、松原)

健診で胃に異常があるかもしれないとのことで、今日は胃カメラの診断を受けました。おいらせ病院のリフォームで、待合ホールは本当に明るくなりました。新聞などの文字も見やすく感じます。



1_明るく広々とした受け付け、会計の窓口。たくさんの患者が訪れ、係員と会話を交わす 2_病院内のトイレはすべて新しくなった。障害を持つ人でも安心して使えるように配慮されている



かつて大活躍したエースは
未来の選手指導に燃える

澤上光成さん

木ノ下小学校体育館にボールの弾む音と子どもたちの元気な声が響く。木ノ下JSCバレーボーイズのいつもの練習風景だ。11月に青森市で開かれた県小学生バレーボール新人戦で、クラブ創設5年目にして初優勝に輝いた。選手たちの練習にも、一層熱が入る。その選手らを、厳しくも温かいまなざしで熱血指導する澤上光成さん(34)木ノ下。パスの練習では、自ら身振り手振りで丁寧

に指導する。チームで行う実践的な練習では、時折大きな声で動きを指示し、選手の動きを的確に修正する。澤上さんは「守備力は東北でもトップレベル。まずは基本が大切です」と目を細める。澤上さんがバレーボールを始めたのは、木ノ下中学校1年生のとき。バレーボール部に入部し、監督や先輩からの厳しい指導を受けながら、練習に汗を流してきた。1年生ながらもスタメンに入り、チームの主力選手として活躍。3年生のときには青森県選抜にも選ばれ、全国大会に出場。その活躍が認められ、バレーボールの名門、

八戸工業大学第一高校へ推薦入学した。社会人になってからも、町体育協会バレーボール部の主力選手として、チームを引っ張った。しかし度重なる厳しい練習は、彼の体に大きな負担をかけていた。2005年にはアキレス腱を痛め、翌06年には椎間板ヘルニアを発症。医師からは「本格的な運動はやめなさい」と告げられた。澤上さんはやむなく選手としての活動に終止符を打った。

それでもバレーボールへの情熱を捨てきれない澤上さん。「選手としては頑張れたが、次の人たちには何も残せていない」と考えた。指導者としての道を志し、何度も講習会に通い、指導方法を学んだ。ルールや指導方法などは、時代と共に大きく変化していた。「自分がやってきたことと今の違いに、とても驚きました」と話す。

指導者になってから、選手らの成長はもちろん、多くの人々の支えが見えてきたという澤上さん。「このおいらせから、全国を代表する選手をぜひ育てたいです」と、強い決意で前を見据えた。



PROFILE

さわかみ・みつなり ● 1975年生まれ。木ノ下中学校入学と共にバレーボールを始め、バレー部のエースとして活躍。3年生のときには青森選抜選手として全国大会にも出場。八戸工業大学第一高校バレー部でも、主将としてチームを牽引。卒業後、町体育協会バレーボール部の主力選手として活躍するが、2006年にけがのため引退。現在は指導者として、多忙な日々を送る。父、母、妻、息子2人、娘1人との7人暮らし。おいらせ町木ノ下在住、34歳





将来は医師の道を目指す智啓くん
笑顔あふれる家庭への思いを込めて
館智啓くん 昌章さん

(藤ヶ森)

PROFILE

たて・ともひろ◎1999(平成11)年生まれ。現在、百石小学校5年生。硬式テニスクラブに所属し、日々練習に励む。得意な教科は算数。将来は医師を志す。11歳。

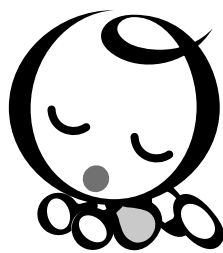
たて・まさあき◎1967(昭和42)年おいらせ町上新町生まれ。県立六戸高等学校教諭として、忙しい日々を送る。担当教科は数学。妻、長男、次男との4人暮らし。おいらせ町藤ヶ森在住、42歳。

「おはよう」とかわすかぞくの「いいえがお」。12月13日に開かれた青少年育成町民大会、家庭の日に関する標語で特別賞に輝いた作品だ。

作品を応募した百石小学校5年生の館智啓くん(11)は「いつも笑顔であいさつを交わせることは、素晴らしいことだと思います」と、標語に込めた思いを語る。朝寝坊をしたときなどは、元気にあいさつできないこともあるという。しかし標語入選を機に、あらためてあいさつの大切さをかみ締める。

将来は人の役に立つ仕事をしたいという智啓くん。小さなころから医師の道を目指し、勉強に励んでいる。「ハードルは高いと思いますが、頑張って夢をかなえたい」と思いは強い。

父の昌章さん(42)は、たくましい息子の笑顔に目を細める。「普段から元気で明るい子どもたちです。夢と希望をしっかり持って育ってほしいですね」と笑顔で語ってくれた。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 おいらせ

広報おいらせ No.59 2010年1月1日発行号

発行 おいらせ町/編集 企画課/〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2 / ☎0178-56-2111 / <http://www.town.oirase.aomori.jp> / 印刷 (株)岩間印刷

広報おいらせ1月号の印刷経費は、1部61円です